

平成18年度 第1回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 議事要旨(案)

1. 日時・場所：平成18年5月30日(火) 14:00～16:15

航空会館501号会議室

2. 出席者：

(検討会委員)：上野委員、佐藤委員、高橋委員、田中委員、森田委員、新美委員、箱崎委員、花岡委員、平田委員、山里委員、横山(尚)委員、横山(裕)委員

(環境省)：環境保健部長、調査官、環境リスク評価室長、国立公園課ほか

(オブザーバー)：茨城県、神栖市、神奈川県、平塚市、広島県、竹原市、防衛庁

3. 議事概要

(1) 議題1「平成17年度に環境調査を実施したB/C事案及び新規事案の評価について(追加分)」

事務局より、資料4-1及び資料4-2に基づき、平成17年度に環境調査を実施したB/C事案等のうち大久野島の事案について説明を行った。大久野島の事案については、環境調査の結果、大気については毒ガスに関連した成分の検出は無かったが、地下水及び土壌について一部の検体からジフェニルアルシン酸等の検出が認められた。しかし、島では地下水の飲用は無く、当該地表面の被覆等も実施済みであるため、公園利用者の健康影響に関しては問題にはならないと考えられ、今後も引き続き所要の事後措置を講ずることが確認された。

(2) 議題2「茨城県神栖市における地下水モニタリング(冬季)の結果について」

事務局より、資料5に基づき、神栖市における地下水モニタリング(冬季)の結果について、ABトラック間の深部でこれまで断続的に認められていた汚染が、今回初めてAB間でつながったこと等を報告した。今後の方針として、引き続き、地下水の定期的なモニタリングを継続することが確認された。

(3) 議題3「茨城県神栖市における汚染解明調査の状況について」

事務局より、資料6に基づき、神栖市における汚染解明調査の状況について、これまでに実施したB地区における水分特性試験や追加的な揚水調査等の結果について説明を行った。今後の予定として、地下水モニタリングの継続、追加的なヒアリングの実施、ABトラック広域シミュレーション等を実施し、汚染メカニズム全容の解明を目指すことを報告した。

(4) 議題 4 「神奈川県平塚市における地下水モニタリングの結果等について」

事務局より、資料 7 及び資料 8 に基づき、神奈川県平塚市における地下水モニタリング、土壌調査の結果について報告した。地下水及び A 事案区域内の土壌より、平成 16 年度の調査に引き続いて有機ヒ素化合物が検出された旨報告を行った。今後の方針として、地下水モニタリングを継続して実施するとともに、所要の環境調査等を実施する旨了承された。

(5) その他

自衛隊習志野演習場における環境調査の結果について、防衛庁より報告があり、物理探査の検知点において今後掘削調査および土壌調査を実施する予定である旨報告があった。